

<報道発表資料>

令和7年11月11日

京都市保健福祉局

健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課

医療衛生推進室医療衛生企画課

## 子宮頸がん予防啓発 KYOTO Teal&White PROJECT2025

～京都のモニュメントをティール&ホワイトにライトアップ～

京都市では、子宮頸がんの早期発見・早期治療のための、子宮頸がん検診の受診率向上、また、子宮頸がん予防に有効なHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの接種率向上に向けた取組を行っています。

この度、WHO（世界保健機関）が主催するイベント「子宮頸がん撲滅世界一斉イルミネーション」と連動し、医療法人財団今井会足立病院と共催で、京都市役所本庁舎塔屋、京都市京セラ美術館等を、子宮頸がん啓発活動のシンボルカラーであるティール&ホワイトにライトアップします。

### 【概要】

- 点灯日時 令和7年11月17日（月）午後7時から翌午前0時まで
- 点灯場所 京都市役所本庁舎の塔屋、京都市京セラ美術館
- 主催・共催 （主催）医療法人財団 今井会 足立病院
- （共催）京都市

<上記以外の主なライトアップ施設>

- ニデック京都タワー
- 足立病院（シンフォニア御池、本館）
- 島津製作所
- ノートルダム女学院
- 京都芸術大学
- 聖母女学院
- 京都府立医科大学
- 熊本大学病院（熊本市）
- 福田病院（熊本市）
- 相良病院（鹿児島市）

<世界保健機関（WHO）「子宮頸がん撲滅世界一斉イルミネーション」>

WHOでは、令和2年に世界194か国の決議で可決された「子宮頸がんの公衆衛生学的排除を加速するための世界戦略」の発行日である11月17日に合わせ、世界各地のランドマークを子宮頸がん撲滅のテーマカラーであるティールブルーにライトアップする活動を行っています。

日本でも、子宮頸がん検診の受診啓発とHPVワクチンの正しい知識の理解促進を目指し、日本各地のランドマークをティールブルーにライトアップする活動が行われています。



（過去の京都市京セラ美術館ライトアップの様子）